

取扱いの趣旨

葉酸は、葉酸値の異常が直接的な原因でない甲状腺機能亢進症等に対する算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年4月30日》

136 葉酸の算定について

○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD007「41」葉酸の算定は、原則として認められる。
(1) 大球性貧血 (2) 巨赤芽球性貧血（疑い含む。） (3) 葉酸欠乏症
- ② 次の傷病名に対するD007「41」葉酸の算定は、原則として認められない。
(1) 甲状腺機能亢進症（疑い含む。） (2) 溶血性貧血（疑い含む。） (3) 汎血球減少症（疑い含む。）

○ 取扱いを作成した根拠等

葉酸は、ビタミンB12とともに、増殖細胞におけるDNA合成の円滑な進行に不可欠な物質であり、欠乏するとDNA合成の障害、特に骨髓造血機能の異常（巨赤芽球性貧血）を呈す。

巨赤芽球性貧血はビタミンB12又は葉酸の不足を原因とし、大球性貧血をきたす貧血であり、葉酸の測定は、巨赤芽球性貧血、大球性貧血、葉酸欠乏症の診断や治療に必要である。

以上のことから、大球性貧血、巨赤芽球性貧血（疑い含む。）、葉酸欠乏症に対する当該検査の算定は、原則として認められると判断した。

なお、葉酸は溶血性貧血や葉酸の需要が増大する甲状腺機能亢進症において低値を示すことがあり、また、巨赤芽球性貧血では、進行すると好中球や血小板も減少し汎血球減少症をきたすこともある。

しかしながら、溶血性貧血（疑い含む。）、甲状腺機能亢進症（疑い含む。）、汎血球減少症（疑い含む。）については、葉酸値の異常が直接的な原因ではなく、測定の必要性は乏しいため、当該検査の算定は原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	宮城、栃木、京都	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城、栃木、京都	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	栃木、宮城、京都	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、巨赤芽球性貧血の一つである悪性貧血が疑われる患者であり、他の疾患との鑑別診断に必要であることから、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年8月～2025年7月審査分

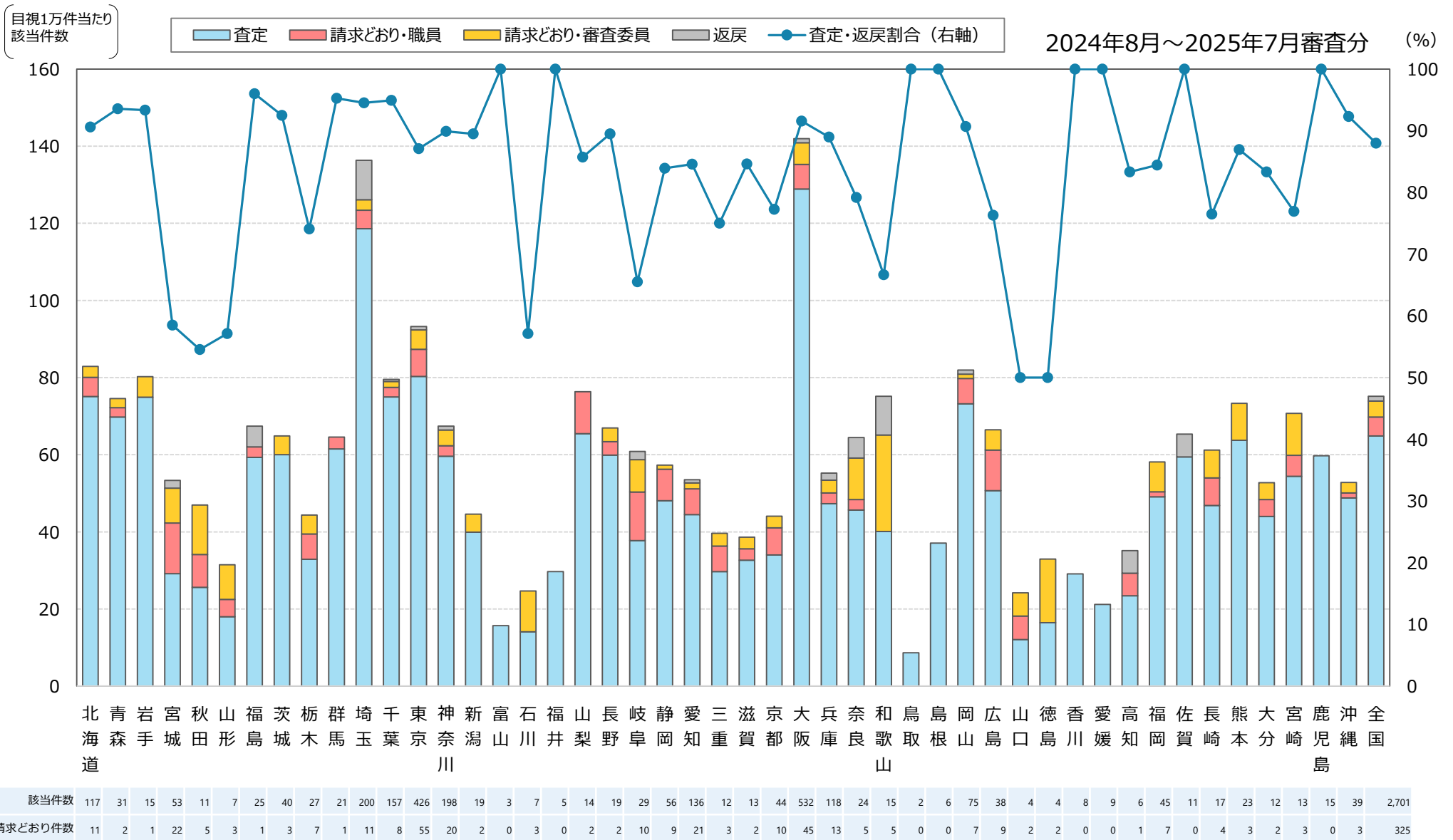
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数2,701件のうち、**取扱いと異なる審査は46件（1.70%）**
検証対象18都道府県のうち、**フォローアップ対象は3都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り の割合			
					査定	返戻	査定 返戻 計				
								取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
01 北海道	117										
02 青森	31										
03 岩手	15										
04 宮城	53	38	71.70%	29	2	31	7	15	28.30%	13	2
05 秋田	11	9	81.82%	6	0	6	3	2	18.18%	2	0
06 山形	7	6	85.71%	4	0	4	2	1	14.29%	1	0
07 福島	25										
08 茨城	40										
09 栃木	27	20	74.07%	20	0	20	0	7	25.93%	4	3
10 群馬	21										
11 埼玉	200										
12 千葉	157										
13 東京	426	423	99.30%	367	4	371	52	3	0.70%	3	0
14 神奈川	198										
15 新潟	19										
16 富山	3										
17 石川	7	7	100.00%	4	0	4	3	0	0.00%	0	0
18 福井	5										
19 山梨	14	14	100.00%	12	0	12	2	0	0.00%	0	0
20 長野	19										
21 岐阜	29	25	86.21%	18	1	19	6	4	13.79%	1	3
22 静岡	56	53	94.64%	47	0	47	6	3	5.36%	3	0
23 愛知	136	136	100.00%	113	2	115	21	0	0.00%	0	0
24 三重	12										

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り の割合			
					査定	返戻	査定 返戻 計				
25 滋賀	13										
26 京都	44	39	88.64%	34	0	34	5	5	11.36%	4	1
27 大阪	532										
28 兵庫	118	114	96.61%	101	4	105	9	4	3.39%	1	3
29 奈良	24	23	95.83%	17	2	19	4	1	4.17%	1	0
30 和歌山	15	15	100.00%	8	2	10	5	0	0.00%	0	0
31 鳥取	2										
32 島根	6										
33 岡山	75										
34 広島	38	38	100.00%	29	0	29	9	0	0.00%	0	0
35 山口	4										
36 徳島	4	4	100.00%	2	0	2	2	0	0.00%	0	0
37 香川	8										
38 愛媛	9										
39 高知	6										
40 福岡	45										
41 佐賀	11										
42 長崎	17	17	100.00%	13	0	13	4	0	0.00%	0	0
43 熊本	23										
44 大分	12										
45 宮崎	13	12	92.31%	10	0	10	2	1	7.69%	1	0
46 鹿児島	15										
47 沖縄	39										
全国	2,701							46	1.70%	34	12

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数